TV 映像音響科　３つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

TV 映像音響科は，映像および舞台技術業界の教育機関として、以下の能力を備えた学生に対して専門士（文化教養専門課程）の称号を授与します。

1 専門的知識と技能

マルチメディア社会の現状と今後の展望に関する知識はもとより，下記の分野におけるそれぞれのスキルを習得し，現代社会に求められる各分野の発展に寄与する専門的知識と技能を身に付けた人

（１） 映像分野：映像コンテンツにおける企画，撮影，編集スキル

（２） 舞台演出分野：イベントにおける演出統括，音響，照明スキル

2 情報収集および分析能力

日々進化する映像関連技術や舞台演出技術における世の中の好みの移り変わりを敏感にキャッチする情報収集能力を身に付け，更にそれを分析したうえでの技術習得や感性の鍛錬ができる人

3 自己表現能力

自ら制作したコンテンツや演出企画などをクライアントに説明できるプレゼンテーション能力を身に付けた人

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

TV 映像音響科は，以下の方針に基づき、常に整った学習環境、多様な学習形態を取り入れ、ディプロマポリシーが達成できる教育を実施します。

1 選択授業による専門知識の習得

該当業種への就職を目指すために，映像技術（企画，撮影，編集），舞台演出技術（演出総轄，音響，照明）の２つのコースを設け，希望する職種に対するより専門的な授業を実施します。

2 現場実習の活用

現場で得られるプロ意識習得のために，多種多様な現場実習を体験すると同時に，日々進化する技術等の情報収集や感性の鍛錬に心掛け，実践的な技術を習得する授業を実施します。

3 学生主催ライブイベントの実施

学生が主体となってライブイベントを企画・実施し，講師や出演者，観客から講評，アンケート等を得ることにより，映像，音響，照明等それぞれの立場に応じた技術力の向上を目指します。

アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）

TV 映像音響科は、映像および舞台技術業界の教育機関として、以下のような学生を受け入れます。

1　業界に興味・関心を持ち，自らも活躍したいと思っている人

2　専門性向上のため，積極的に情報収集し，意欲的に学習できる人

3　自分を表現する力，相手を理解する力など，コミュニケーション力向上のための努力ができる人

4　社会への貢献を意識した行動ができる人